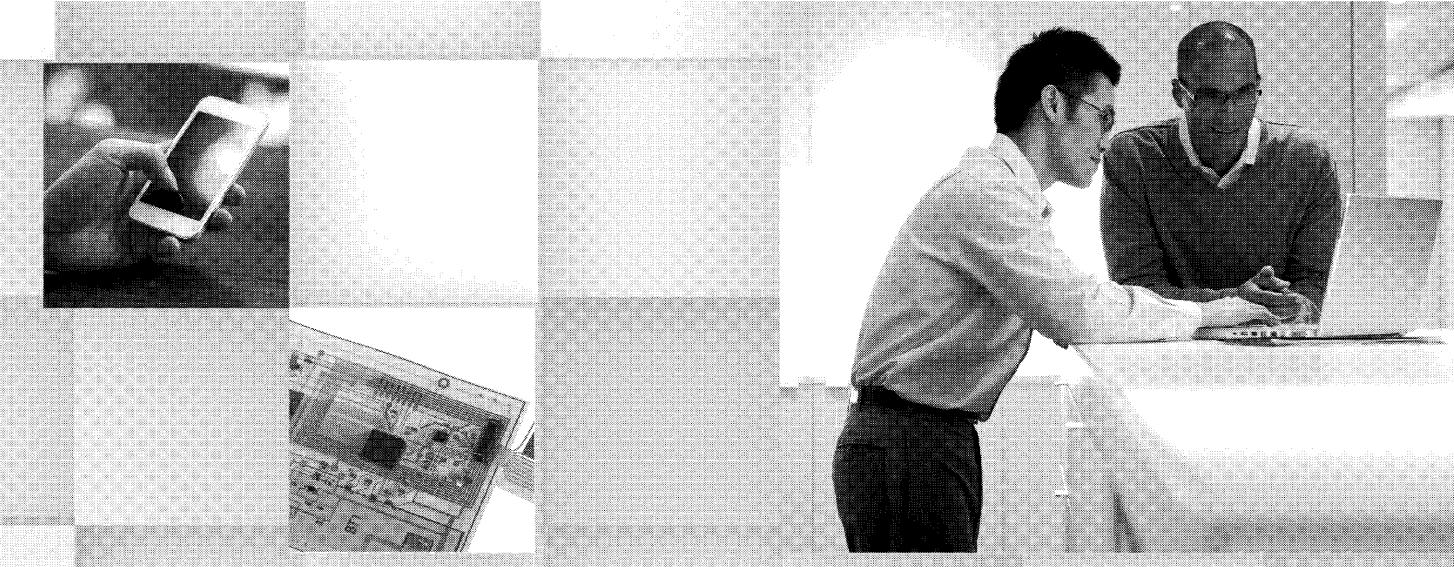


# 困難な課題に向けて Simply Solved ➤



モレックスは、貴社の最も難しいニーズにも対応し、多方面からのアプローチで、貴社との協働による設計サイクルの円滑な進行を実現します。

[www.molex.com/simplysolved/ja](http://www.molex.com/simplysolved/ja)

**molex®**  
**one company** > a world of innovation



2017年度 コネクター出荷額											
4月		5月		6月		7月		8月		17年4月-8月(累計)	
金額 (億円)	前年度比 (%)	金額 (億円)	前年度比 (%)	金額 (億円)	前年度比 (%)	金額 (億円)	前年度比 (%)	金額 (億円)	前年度比 (%)	金額 (億円)	前年度比 (%)
487	128	492	133	524	123	518	122	553	120	2,575	125



A) 関連機器向けコネクター、そして自動車のエレクトロニクス化進展による車載用コネクターの需要増だ。生産現場では効率化や自動化を目指して産業用ロボットの導入が進んでおり、ロボットに搭載されているカメラやセンサー、アクチュエーターといった機器を接続するためにコ

車載センサーやカメラからのデータを利用し、走行車線維持や前方車両追従走行、自・4<sup>ビーム</sup>ピッチのフローライズへの耐性も必要だ。物理的な負荷では激しい振動や引っ張りといった外部からの衝撃などに対する堅牢性、そして嵌合性、さらには小型・軽量・薄型化なども求められている。

ノイズへの耐性も必要だ。物理的な負荷ではコネクターがピッチ方向というように縦横に可動することによつて、嵌合のずれを吸収する。その特性から車載用途に有効だ。

フローティング方式の高速伝送が求められるカーナビゲーションなどにも有効だ。

また、カーナビゲーションの接続などの用途向けコネクターでは日本モレックスが樹脂製の本体に金属製部品を組み込むことで軽量化した同軸コネクターではAバージョン3.0に対応している。データ

電子情報技術産業協会（JEITA）がまとめた8月の電子部品年同月比11%増の346・1億円と9カ月連続のプラス成長。その中で接続部品のコネクタネクターが利用されている。また、安全性能や快適性能、環境性能を高めるため、自動車の工装装置同士をつなぐ車載機器の情報通信ネットワーク化が進展している。

# 4—8月出荷 25%増

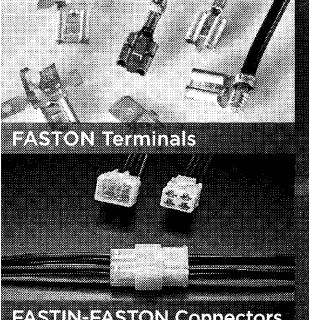
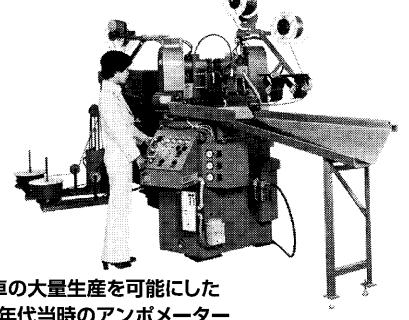
コネクターは結合・離脱できる機械的機能と、電気回路の接続・切り離しができる電気的機能を持つ電子部品。機器と機器、基板（ボード）と基板、あるいは電線（ケーブル）と電線の間を結合し、データや信号、電力などを伝送するためを利用されている。作業者が安全・簡単に接続できること、またデータや信号、電気を確実に伝送するため、コネクターには高い信頼性が求められている。

# 安全につなぐ 確実につたえる

ユメウタ

分道遊轉

# ALREADY THERE, IN IT. AN ESSENTIAL PART OF MOTORIZATION



人々の夢に応えるため、電子部品の製造技術から変えていく。

1964年、東京オリンピックを契機に、日本に空前のマイカーブームが到来しました。乗用車の需要が急拡大し、生産が追いつかない事態に。そこで活躍したのが、私たちタクミ。これまで手作業で行ってきたコネクタの結線作業を自動化するこの装置は、多くの自動車メーカーに導入されました。私たちも今年で創業60周年を迎えました。業界のリーディングカンパニーとして、これからも新しい時代を切り開いていきます。

# EVERY CONNECTION COUNTS